

# 住まいを、 予防医学する 室内気候。

町の工務店ネットが『住まいを予防医学する本』を発行したのは2007年だった。この本の中で、私たちは「世界が震える新型インフルエンザ」についてページを割き、その予防策は、血行と代謝をよくして体全体の抵抗力を高め、病気になりにくい生活をおくることだと記した。室内気候については、エアコン(温風熱)頼みの過刺激的な温熱環境に依らずに、室内の周壁温度を高め、放射暖房の方法を推奨した。

近年、断熱気密技術は格段に高まった。けれども冷暖房は、今尚エアコンに依存している。パッシブ的な手法を用いた室内気候は、冬に窓を開けても急には冷え込まない。寒い夜道を歩いて家に入ったとき、ほわーっとした温かさがやさしく身を包んでくれる。その温かさは、ゆっくりじんわりと体の深部にまで及んで、ホドいい室内気候を生んでくれる。夏には、天空放射冷却によって寝苦しくない状態を得られる。熱帯夜は、エアコンを必要とするだろう。けれども底上げされた室内気候は、一年を通じて、その使用頻度を抑えてくれる。——本の発刊動機に立ち戻り、さらにパッシブ手法の進化へ。



発行：一般社団法人 町の工務店ネット  
発行日：2007年7月



設計・施工：マクス

設計・施工：大塚工務店

設計・施工：シンケン

設計・施工：ミズタホーム

設計・施工：建築工房 アシストプラスアルファ

## 町の工務店ネットが、今、取り組んでいること。

### ①基本となるベースは「定番住宅」。

「定番設計」は工務店ラインナップの最下位に置くものではない。その工務店が練り上げた建物を、求めやすく提供することをいう。

### ③地域の風景になる建築を。

バラバラの屋根と窯業系サイディングの壁が地域の風景を支配している。その家は前を通る人の家でもありと考えると家をつくる。

### ⑤リノベーション(根本改修)に取り組む。

お化粧直しのリフォームから、耐震と断熱気密を根本治療するリノベーションへ。予算の壁は厚いけど、経験知がものをいう取り組み。

### ⑦プロモーション活動に取り組む

知恵と工夫に満ちた建物見学会や住まい教室を活発に開き、「Web女子」(社長だけでない地域対応チャンネル)を生み、育てよう。

### ②パッシブ最前線の方法を身につける。

空気熱でなく放射熱に目を向け、高断熱高気密住宅の先にあるものにチャレンジ。目指すのは、健康によく、居心地のいい空間。

### ④風化と劣化の違いを押し出す。

外壁を、杉の板張りや左官仕上げにするだけで、家並みは変わる。風化と劣化は異なる。素材の選択とデザインの違いで示したい。

### ⑥「街に、木の建築を」運動を開始。

「街に、木の建築を」キャンペーンを開始しました。施工に限れば、中規模木造は工務店でやれる。設計プロジェクトが動いています。

### ⑧関係認識・変革のネットワークへ。

人が育つのは、社長の背中から感じることに、仲間どうしの切磋琢磨にある。町工ネットは、金太郎飴組織でなく情報ネットワークです。

**春のセミナーご案内。**(詳しくは、裏面へ)

# 春のセミナー ご案内。

緑の消費者が現れ、本当に必要なもの、長く使えるもの、健康と環境にいいものを求めるようになった。緑の消費者は、モノとコストの関係についてもシビアである。致命的なのは、工務店自身のリテラシー不足にあるといわれる。それなら、しっかりと春のセミナーで解き明かそうではないか。

**【福岡会場】 4/21 (火) 天神・アクロス福岡 13:30~17:00**

**【大阪会場】 4/22 (水) 中之島・大阪国際会議場 13:30~17:00**

**【東京会場】 4/23 (木) 銀座・中小企業会館 13:30~17:00**

新型コロナウイルスの行方が不透明です。状況により中止・延期せざるを得ない場合は、あらかじめご了承ください。

## 【三会場・共通講師】

- ①小池一三(一般社団法人 町の工務店ネット 代表)
- ②趙 海光(建築家・ぶらんにじゅういち 代表)
- ③松原美樹(手の物語(有) 常務取締役)

## 【工務店による実践報告:福岡会場】

熊本・(株)ミズタホーム 代表 / 水田和弘、大分・日本ハウジング(株) 代表 / 馬場鉄心

## 【工務店による実践報告:大阪会場】

伊丹・(株)いなほ工務店 代表 / 本 峰久、明石・(株)大塚工務店 代表 / 大塚伸二郎

## 【工務店による実践報告:東京会場】

富士・(株)マクス 代表 / 鈴木克彦、富山・建築工房アシストプラスアルファ(株) 代表 / 沢本雅彦

**【参加費】 ¥5,000 / 人・回(税込、資料代含む)**

## セミナー講師陣



ちよう うみひこ

趙 海光

(建築家・ぶらんにじゅういち 代表)

法政大学建築学科卒業。国産材を用いた台形集成材の設計や、木造スタンダード住宅の設計手法となる「現代町家」に取り組む。後者は町工ネット工務店の「定番設計」の一つになっており、各地の工務店によって設計の内部化が計られている。「現代町家」という方法(建築資料研究社)が発行され、建築と植栽による、里山のある町角づくりに注目が寄せられている。

現在4mのムク材を用いた、中規模木造建築の架構法プロジェクトに取り組んでいます。今回は、この計画にしぼってくわしくお伝えしたい。



水田和弘

(株)ミズタホーム 代表

熊本県宇土市に生まれる。地域の素材にこだわり年間7戸程度の仕事に絞って良質な家づくりに専念。その仕事ぶりに触れた人は、鹿児島シケンが「行列ができる工務店日本一」なら、ミズタホームは「日本一幸せな工務店」と呼ぶ。本人は、かつては数を追ったこともあるけど、家を造る側と住まう側のしあわせなカタチを追い求めたら、今のあり方にたどり着いたという。

熊本地震を経験して、見えてきた事がたくさんあります。住む人の健康と喜びに貢献できる家について、実作をご紹介しますしながらお伝えしたい。



馬場鉄心

(日本ハウジング(株) 代表)

早稲田大学商学部卒。修業期間を経て、二代目として戻る。町の工務店ネットで学び、FC系工務店から地産地消スタイルへと業態変更。「よいものを地元で作って回す」という地産地消の循環型事業形態に着目、拠点整備を進め、地元林産地との間でネットワーク化。新築・リノベーションの二つのモデルを建設。建物の「根本治癒」をはかる取り組みを加え、安定受注を得ている。

ブルー・オーシャンな工務店を目指して日々奮闘中。これからを考え、木造非住宅の可能性を追っている。その意味するところを自分の言葉でお伝えしたい。



本 峰久

(株)いなほ工務店 代表

2006年、建築家である義父の指導のもと、会社を設立。「さあ、実りある暮らしを」というキャッチコピーのもと、稲穂のように、分け易く、親しみ易く、安心できる家づくりをモットーとする。狭小地の3階建て住宅に精通する一方、「里山住宅博 in 神戸」の事務局長を務め、成功に導く。「里山のある町角」づくりなど、風景をつくる仕事を手掛け、伊丹にモデルハウスを建設中。

カリフォルニア・ミッドセンチュリーの上客を対象に、独自の展開をはかったアイクラーホームのように、神戸・北摂地域を対象に、何を、どう進めるかをお伝えしたい。



大塚伸二郎

(株)大塚工務店 代表

木の家づくりを重ねて、もうすぐ百年になる工務店四代目。古い民家に新しい息吹を吹き込みたいという。国産ムク材にこだわり、「里山住宅博 in 神戸」では、明石瓦を蘇らせるため淡路島の窯で焼いてもらった。喋り出したら止まらない御仁だが、仕事はじっくりコトコト時間を掛ける。今、明石で「里山のある町角」を計画。一流のものに真っ直ぐ目を向け、懸命に学ぶ。

ずっと走り続けてきたけど、地域に生きるとはどういうことか、自分がやること、やれることが見えてきた。そのホットな気持ちと取り組みをお伝えしたい。



鈴木克彦

(株)マクス 代表

昭和45年生まれ。社名のマクスは、宮大工の曾祖父から教えて富士市で四代目にあたる鈴木家の系譜「Mc.Suzuki」より。自身は北大水産学科卒の研究所勤めだったが事業継承のため戻る。町工ネットのイベントに積極的に参加し、考え方や技術を摂取。一級建築士を取得。最近、建築家堀部安嗣さんの仕事に取り組み、施工面、デザイン面での進境も著しい。

無我夢中で走ってきたら、そこに一本の道があった。地域にあって、唯一無二のオンリー・ワン工務店になるため取り組んでいることをお伝えしたい。



沢本雅彦

(建築工房アシストプラスアルファ(株) 代表)

1999年に富山市で創業。社員4名、年間新築数7戸の工務店。流行やスピードに翻弄される建築ではなく、永く住みたいと思ってもらえる家づくりを模索するなかで、町工ネットと出会い加入。趙海光さんと共同して、自宅兼モデルハウスを建築。設計と素材の標準化を進め、方向が定まった。小さな工務店は、人の心や情緒に響く「意味的価値・コト的価値」を大切に、という。

富山平野で取り組んできた数々の仕事をご紹介します。設計と、地域協同の取り組みによって開かれた、独自の顧客開発についてお伝えしたい。



小池一三

(一般社団法人 町の工務店ネット 代表)

パッシブソーラーの普及に寄与。「近くの山の木で家をつくる運動」の宣言起草者として知られる。これらの功績により「愛・地球博」にて「地球を愛する世界の100人」に選ばれる。地域と、工務店の個性と価値を見定めるべく、各地の地域工務店を訪問。「奔走人」を自任する。全国の独立自営工務店と苦楽を共にし、可能性を探索。全国に同じ工務店は二つとない、というのが持論。

多難な時代に突入するなかで、工務店が生き続けるために根本に据えるべき理念と、具体的にして確度の高い方策について、しっかりお伝えしたい。

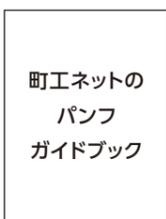


松原美樹

(手の物語(有) 常務取締役)

中部大学建築学科を卒業後、設計事務所を経てOMソーラー協会に入社。技術推進プロジェクトを担当、アメリカ事務所に配属。北米・南米で集熱ユニットの開発に従事し、同協会退社後、建築家奥村昭雄考案のパッシブシステムの原理を活かした、簡単にシンプルな方法を模索。手の物語役員としておソーラーの開発を担う。青いトラックに集熱ユニットを載せて全国を駆け回る。

短サイクル製品を用いると後になって厄介が生じる。壊れても簡単に直せ、取り換え可能な商流品を選び、長い時間に耐えられる真のパッシブをお伝えしたい。



セミナーご参加の方には左記の印刷物を差し上げます。

## Webサイトからのお申込み

町の工務店ネット

<https://machi-no-komuten.net/archives/27052> お申込みWebサイトのQRコードはコチラ▶



【お問い合わせ】町の工務店ネット 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1 tel:053-570-9001

## FAX用 参加申込み書

2020年 月 日

御社名	参加会場 参加される会場を ○で囲んでください			福岡会場 (4/21)	大阪会場 (4/22)	東京会場 (4/23)
住所	〒					
TEL	FAX					
(ふりがな) 参加代表者名	参加代表者役職			参加人数 (代表者含む)		
参加代表者 メールアドレス	参加代表者 携帯電話番号 (当日ご連絡先)			人		

FAXでのお申し込みは

053-570-9007

お申込書FAX到着後、折り返しメールにて、ご案内等ご送付させていただきます。